



2020年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年5月15日

上場会社名 株式会社ビーグリー

上場取引所 東

コード番号 3981

URL

https://www.beagle.com

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 吉田 仁平

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 兼 社長室長 (氏名) 櫻井 祐一

(TEL) 03-6706-4000

四半期報告書提出予定日 2020年5月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第1四半期の業績(2020年1月1日~2020年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第1四半期	2,684	8.9	402	144.9	401	145.3	225	133.9
2019年12月期第1四半期	2,464	14.4	164	—	163	—	96	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第1四半期	38.29	37.75
2019年12月期第1四半期	16.44	16.25

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第1四半期	7,807	4,965	63.6
2019年12月期	7,753	4,736	61.1

(参考) 自己資本 2020年12月期第1四半期 4,965百万円 2019年12月期 4,735百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年12月期	—	—	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

3. 2020年12月期の業績予想(2020年1月1日~2020年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,446	8.3	376	31.7	371	30.5	220	30.3	37.47
通期	11,538	10.9	1,009	23.4	1,001	23.3	586	18.0	99.67

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年12月期 1 Q	6,156,462株	2019年12月期	6,150,198株
② 期末自己株式数	2020年12月期 1 Q	250,223株	2019年12月期	250,223株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年12月期 1 Q	5,902,004株	2019年12月期 1 Q	5,877,251株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3.「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

当第1四半期累計期間における日本経済は、1月までは雇用環境は改善傾向となり、企業収益や設備投資の一部に弱さが見られるものの緩やかな回復傾向でありましたが、2月以降は新型コロナウイルス感染症の拡大により、急速な景気減速となりました。

コミックを中心とする電子書籍市場は、ユーザーの拡大及びユーザー平均購入量の増加が続いており、今後も電子書籍及び電子コミック市場の拡大が続くことが予想されております。(出典：インプレス総合研究所「電子書籍ビジネス調査報告書2019」)さらに、新型コロナウイルス感染症の影響で巣ごもり消費も促されており、足元では堅調に推移していると考えられます。

しかしながら、電子書籍のビジネスモデルの多様化や成熟によって電子書籍市場が徐々に飽和していくことも想定されます。

このような市場環境の中で、当社はオリジナルコンテンツの創出や独占先行配信タイトル等による品揃え及び編集機能の強化を進めるとともに、未契約ライセンサーとの許諾獲得にも注力し、コンテンツ拡充に繋げております。また、ユーザーの訪問・定着・課金の流れを促し、課金者の絶対数を増やすべく、サービス改善やお得感を訴求するキャンペーン実施等のブランディング強化に注力いたしました。

この結果、当第1四半期の売上高は前年同期比で2.2億円増の26.8億円となりました。

以下、当第1四半期累計期間における当社コンテンツプラットフォーム事業の主な活動状況であります。

電子書籍ビジネスの主力サービスであるコミック配信サービス「まんが王国」においては、累計93作品となるオリジナルコンテンツの配信や独占先行配信作品を含んだオリジナルレーベルの配信によってコンテンツの差別化を推進しております。2020年2月には、テレビアニメ「SHIROBAKO」の本編完全コミカライズの独占連載がスタートしたほか、同年4月には当社と株式会社講談社の共同プロジェクト作品としてまんが王国で独占先行配信している人気漫画「ギルティ〜鳴かぬ虫が身を焦がす〜」がドラマ化され、読売テレビ・日本テレビ系で放映されております。「まんが王国」サイト内においては、来訪や課金、消費に応じて特典が得られる魅力的な施策を拡大するとともに、各種キャンペーンの実施や幅広いユーザー層定着のための様々な販売促進活動を積極的に行いました。さらに2020年3月からは、キャッシュレス・ポイント還元事業に加盟し、ポイント購入時のクレジット決済を還元対象とする等、より一層“お得感”を訴求してまいりました。これらの取り組みにより、2020年3月に会員登録数が350万人、累計ダウンロード数が12億冊を突破する等、継続的に成長する一方で効率を重視した広告宣伝活動にも努めております(累計ダウンロード数は、無料タイトル及びコマ形式のタイトルを冊数換算したものを含んでおります)。なお、2020年4月より、ポイント購入と消費の両方であわせて毎日最大45%還元される新たなポイントプログラムを開始し、いつでもお得に作品を楽しめる店舗運営を推進しております。

無料マンガアプリ「コミックevery」においては、継続してコンテンツ拡充を推進し、新作から旧作までの幅広い品揃えにより、基本無料で読める作品数を1,400作品、40,000話以上にまで拡大いたしました。2020年4月には、毎日無料で1話ずつ読み進められる新機能「毎日無料」を開始し、お客様により多くの作品を継続的に楽しみいただけるよう、サービス改善に取り組んでおります。

電子小説サービス「ノベルバ」においては、2020年3月に株式会社竹書房の竹書房文庫の配信を開始する等、投稿作品だけでなく、商業作品の許諾獲得にも注力し、幅広いジャンルでのコンテンツ拡充を進めております。なお、作品数は15,000作品以上にまで拡大いたしました。

ゲームビジネスにおいては、株式会社オルトプラスと共同開発している当社原作の新作スマートフォン向け絆体感ゲーム「RenCa:A/N(レンカ アルバニグル)」について、アプリ内でのイベントの実施や新機能の実装等のコンテンツ拡充を進めました。また、コラボカフェの開催や公式WEBラジオの公開等、様々なイベントの実施やキャラクターグッズの商品化といったアプリゲームに留まらない、メディアミックス展開を行っております。

その他ビジネスにおいては、イベント等の様々なコンテンツのプロデュースやプロモーション支援活動に取り組ましました。

この結果、当第1四半期累計期間の売上高は2,684,469千円(前年同期比8.9%増)、営業利益は402,917千円(前年同期比144.9%増)、経常利益は401,798千円(前年同期比145.3%増)、四半期純利益は225,990千円(前年同期比133.9%増)となりました。

当社はコンテンツプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしていません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における資産合計は7,807,378千円となり、前事業年度末に比べ54,304千円増加しました。

流動資産は3,382,308千円となり、前事業年度末と比べ90,276千円増加しました。これは主に、現金及び預金が259,378千円減少した一方で、売掛金が337,260千円増加したことによるものです。

固定資産は4,425,069千円となり、前事業年度末と比べ35,972千円減少しました。これは主に、投資その他の資産が40,776千円増加した一方で、無形固定資産が75,377千円減少したことによるものです。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債合計は2,842,218千円となり、前事業年度末に比べ174,411千円減少しました。

流動負債は2,542,218千円となり、前事業年度末に比べ114,411千円減少しました。これは主に、買掛金が88,230千円増加した一方で、未払金が70,540千円、未払法人税等が53,130千円、繰延収益が58,552千円、賞与引当金が45,783千円減少したことによるものです。

固定負債は300,000千円となり、前事業年度末と比べ60,000千円減少しました。これは、長期借入金が60,000千円減少したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は4,965,159千円となり、前事業年度末に比べ228,715千円増加しました。これは主に、利益剰余金が225,990千円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は、63.6%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2020年2月14日の「2019年12月期決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

引き続き「まんが王国」では、幅広いお客様に向けた多種多様なキャンペーン等を積極的に行うことで付加価値の高いサービスを提供し、顧客満足度向上に努めます。これによってサイト活性化を図り、訪問・定着・課金を促すことでさらなる売上高向上を目指してまいります。また、その他のサービスやビジネスにおいては、サービス改善やコンテンツ拡充を進めるとともに、サービスの垣根を超えた様々なメディアミックス展開を目指し、コンテンツプラットフォーム事業の拡大を図ります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,664,528	1,405,150
売掛金	1,279,639	1,616,899
有価証券	300,000	300,000
商品	2,987	3,189
貯蔵品	1,323	1,279
前渡金	19,728	10,905
前払費用	25,263	45,942
その他	404	373
貸倒引当金	△1,843	△1,432
流動資産合計	3,292,031	3,382,308
固定資産		
有形固定資産		
建物	14,662	14,662
建物附属設備	11,655	11,655
工具、器具及び備品	131,853	133,109
減価償却累計額	△110,579	△113,206
減損損失累計額	△9,426	△9,426
有形固定資産合計	38,165	36,793
無形固定資産		
のれん	3,717,017	3,643,980
商標権	432	404
ソフトウェア	188,135	205,530
コンテンツ資産	403,767	393,038
ソフトウェア仮勘定	8,264	2,372
コンテンツ資産仮勘定	34,371	31,285
無形固定資産合計	4,351,988	4,276,611
投資その他の資産		
敷金	43,919	84,696
繰延税金資産	26,968	26,968
その他	0	0
投資その他の資産合計	70,888	111,664
固定資産合計	4,461,042	4,425,069
資産合計	7,753,074	7,807,378

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,087,702	1,175,932
1年内返済予定の長期借入金	240,000	240,000
未払金	284,377	213,836
未払費用	21,648	22,212
未払法人税等	216,586	163,455
未払消費税等	30,927	61,578
繰延収益	710,192	651,639
預り金	7,850	13,559
賞与引当金	45,783	—
その他	11,561	4
流動負債合計	2,656,630	2,542,218
固定負債		
長期借入金	360,000	300,000
固定負債合計	360,000	300,000
負債合計	3,016,630	2,842,218
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,868,930	1,870,536
資本剰余金	1,868,430	1,870,036
利益剰余金	1,371,988	1,597,978
自己株式	△373,392	△373,392
株主資本合計	4,735,957	4,965,159
新株予約権	486	—
純資産合計	4,736,443	4,965,159
負債純資産合計	7,753,074	7,807,378

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)
売上高	2,464,434	2,684,469
売上原価	1,371,740	1,534,031
売上総利益	1,092,694	1,150,438
販売費及び一般管理費	928,157	747,521
営業利益	164,537	402,917
営業外収益		
受取利息	234	7
受取配当金	19	22
還付加算金	504	—
受取返戻金	691	990
賞与引当金戻入額	408	—
その他	45	0
営業外収益合計	1,903	1,020
営業外費用		
支払利息	1,332	943
融資手数料	1,089	1,089
その他	246	106
営業外費用合計	2,667	2,138
経常利益	163,773	401,798
特別利益		
新株予約権戻入益	—	486
特別利益合計	—	486
特別損失		
減損損失	—	21,913
特別損失合計	—	21,913
税引前四半期純利益	163,773	380,371
法人税等	67,172	154,380
四半期純利益	96,600	225,990

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

当社の事業セグメントは、コンテンツプラットフォーム事業のみの単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(追加情報)

表示方法の変更

前事業年度において、「投資その他の資産」の「その他」に含めて表示しておりました「敷金」は、金額的重要性が増したため、当第1四半期会計期間より独立掲記することといたしました。この表示方法の変更を反映させるため、前事業年度の財務諸表の組み替えを行っております。

この結果、前事業年度の貸借対照表において、「投資その他の資産」の「その他」に表示しておりました43,919千円は、「敷金」43,919千円、「その他」0千円として組み替えております。